

日光地域まちづくり懇話会

日 時：平成 30 年 6 月 30 日（土）14：00～

場 所：日光総合会館

テーマ：日光地域における交通対策（駐車場対策・道路対策）

[対応方針・対応状況]

①神橋付近の交通整理について

〈参加者の発言要旨〉

神橋のところで、土日や連休時に警察官が交通整理をした時代がありました。その当時は手信号でさばき、ある程度流れがスムーズになりました。人の力を借りながら、交通渋滞を緩和する方法はとれないでしょうか？

〈市側の発言要旨〉

交通誘導員は警官ではないため交通規制の誘導という点では難しい面があります。またガードマンについても交通規制のための配置はできません。ご意見については道路管理者や警察に伝えるとともに、日光地域交通対策検討会において協議をしていきたいと考えています。

◇対応方針・対応状況

神橋交差点では交通誘導員を 2 人配置し歩行者及び車両の誘導を行った経緯があります。結果として渋滞に一定の流れがある場合は有効な手法ですが、二社一寺へ向かう右折車両で流れが止まった時には効果は低いと考えられます。神橋交差点部分の円滑な交通誘導については引き続き研究していきます。

②駐車場の満空情報提供・渋滞情報提供について

〈参加者の発言要旨〉

来訪者に情報提供があまりされていないと思います。安川町駐車場の満空情報を事前に何らかの方法で情報提供を行えないでしょうか？また中鉢石町や下鉢石町あたりに情報板を設置して山内駐車場の満空情報提供ができれば、もう少し渋滞緩和ができるのではないのでしょうか？

〈市側の発言要旨〉

電光掲示板には満車情報は掲示されていません。また車で5分から10分程度の場所での情報提供であれば有効的だと思いますが、車で2時間かかる場所での情報提供は非常に難しいと考えています。費用や手法での課題は多いと考えますが、日光地域交通対策検討会の中で研究していきたいと思っています。

また情報板設置には高額のコストがかかります。国県道の管理者である栃木県でどう考えるか、この意見については日光土木事務所へつなげていきたいと思っています。

◇対応方針・対応状況

渋滞情報の提供は渋滞緩和に有効であると認識していますので、引き続き道路管理者を含む「日光地域交通対策検討会」の中で検討していきます。

駐車場の満空情報の発信は、駐車場に空きがある場合は有効な手法となりますが、周辺駐車場が満車になった場合は地理的な問題や位置などの関係から混乱を招く恐れがあります。また、満車時には別の場所へ誘導が必要なことなど課題が多い状況です。満空情報の発信につきましては、引き続き有効な手法について調査研究していきます。

③空き地を活用した臨時駐車場開設について

〈参加者の発言要旨〉

渋滞を事前に把握して、その時期には空き地に車を回すことが重要だと思います。電光掲示板だけでなくインターチェンジや料金所でビラを配布して啓蒙活動すれば、利用も増えるのではないかと思います。

また大谷川河川敷やJR駅裏側の古河電工所有の空き地を利用してはいかがでしょうか？

〈市側の発言要旨〉

情報板は非常に有効だと思います。費用対効果や利活用状況によっては道路管理者である栃木県も考えてくれると思いますので、日光地域交通対策検討会議でとり扱って行きたいと考えています。

霧降大橋から上流側については、まちなかを歩いてもらいやすく、観光や商業の活性化の面でも、非常に適した場所だと考えています。住宅地が近いので出入り口の関係や道路の問題や、一部河川敷で民有地が入っている部分があることなど、いくつかの課題があると思いますが利活用を検討したいと考えています。

◇対応方針・対応状況

空き地を活用した臨時駐車場の開設は渋滞緩和に有効な手法であり、現在日光市及び栃木県において実施しているところです。しかし、受入れ台数に限りがあるため周知や誘導の方法について課題が多い状況です。

大谷川河川敷は、交通誘導に関する安全対策などの課題があります。日光地域の渋滞対策については、持続可能な事業とするために、徒歩圏内において公共用地や空き地を活用した歩く観光地を推進していきたいと考えています。

また、提案のありましたJR駅側の空き地については、現地を確認し検討していきます。

④いろは坂の交通について

〈参加者の発言要旨〉

いろは坂は第一いろは坂が下り、第二いろは坂が上りということで決まっていますが、第一いろは坂は2車線のような1車線なのでそれを逆にして、第一いろは坂は上り専用、第二いろは坂は10～11月全面的に対面交通にはできないでしょうか。ただし、10月～11月のみ対面通行にすると、上り下りを間違えて進入してしまうという問題もでると思います。例えばいろは坂上り口の馬返しのところに、紅葉シーズンなどは混雑状況というものを出しておいて、明智平に寄らない方は第一いろは坂に行くとか、今の道路を変えることなく何かできて、渋滞の緩和ができないでしょうか？

〈市側の発言要旨〉

第一いろは坂の利活用関係ですが、以前日光市としては、社会実験で神橋から山内までを一方通行化したいと、会議で意見しました。警察の見解として、一時的な交通方向の変更というのは、非常に危険なので駄目ですとはっきり言われましたが、今の話の内容をもう一度現実的に可能かどうか、日光地域交通対策検討会議の中で話をしていきます。

◇対応方針・対応状況

いろは坂の渋滞は、二荒橋T字路において、華厳の滝へ向かう右折車両により左折車両が進めなくなることが原因のひとつと捉えて、渋滞対策を目的に平成30年10月から11月上旬に明智平から二荒橋までの区間を一方通行に規制し、左折ラインを確保する社会実験が行われました。この実験を受けて栃木県からは、円滑な道路交通の確保に向け調査研究を進めて行くと聞いています。今回

提案いただいた内容については、今後検討していただけるよう申し伝えておきます。

⑤日光総合会館の活用について

〈参加者の発言要旨〉

日光総合会館は現在の西参道第1駐車場側へ移設して、その跡地を駐車場にして100台程度の駐車場を造ってはどうか？

〈市側の発言要旨〉

市のマネジメント計画の中で意見を踏まえながら研究していくということで進めています。

また文化会館は将来的に1つに集約するという事で内部的には答えを出しています。内部で検討する会議がありますので、早急に市側の見解を示して、お話ししたいと思います。

◇対応方針・対応状況

日光総合会館については、市内における検討を経て、廃止の方向で調整したい旨の市の方向性を本年8月及び11月に地域説明会等でお示しました。

施設廃止後の当該地の活用にあたっては、現在の駐車場の利用状況や周辺の渋滞対策の観点からも、駐車場としての活用条件は必須項目であると考えています。

その上で、公民連携の手法を取り入れた利活用を基本として、多層化駐車場の整備も含め、どのような形態が有効かつ可能なのか、また駐車場プラスアルファの部分でどのような施設整備の可能性、市場性があるのかなど、跡地活用検討の早い段階で民間事業者の発想や提案、市場性等を民間事業者との対話（サウンディング調査）により把握しながら、施設廃止までの期間に、当該地の有効な利活用方法を検討していきます。

⑥除雪について

〈参加者の発言要旨〉

観光に来た方が滑って転んだりしているのを見受けられると聞いていますので、観光施設内の除雪をいち早くやっていただければと思います。それと生活道

路の確保もあわせてやっていただければと思っています。

〈市側の発言要旨〉

除雪につきましては、平成26年の大雪からの対策として、県と市と道路公社で除雪連絡調整会議という組織を起ち上げました。全ての道路をいっぺんに除雪することはできませんので、優先する道路を決めて、また国道、県道、市道とそれぞれ管理者が違いますが、そういったことにとらわれずに、自然の区間として除雪をする体制をつくりました。今後、秋口に除雪調整会議がありますので、更に発信していきたいと思っています。

◇対応方針・対応状況

市としましては、除雪連絡調整会議で定めた優先順位のとおり幹線道路から順に除雪作業を実施しているため、観光施設の除雪を優先的に行うことは困難です。なお、市道や市有施設の除雪を順に行っており、個人宅や市道以外の道については除雪を行っていません。観光施設につきましても、市有施設以外は、施設の管理者に除雪をお願いしているところです。生活道路とはいえ、すべての道路の除雪をすることは、費用と時間の点から困難ですので、地域の皆様のご協力をいただきながら、通行の確保をしていければと考えています。

⑦市道の整備について

〈参加者の発言要旨〉

日光宇都宮有料道路の日光インターから下りた市道の歩道がすごく狭いです。天理教までのところが整備されるという話を聞いていますが、わかっているか教えてください。

〈市側の発言要旨〉

日光宇都宮有料道路の日光インターからの道路は市道と県道が重複している路線で、地元の方から要望をいただきながら拡幅していきます。バリアフリーにもしていきますが、車道と歩道をどのようなかたちで構成していくか、案をつくっています。地元の方々が納得できるような案として計画していますので、近いうちに自治会の方々にご説明できると思います。

◇対応方針・対応状況

当該道路の改良については、平成26年に関係5自治会から歩道改良の要望

の提出があったことを受け、測量および設計をした上で、市・県・自治会により協議をしている状況です。ただ、現在までの協議の中で、各自治会で意見にばらつきがあることが分かり、工事实施の同意まで至っていない状況です。今後、協議および地元説明会を実施して、工事が実施できるようになれば予算要求をして、工事着工へと進むことになります。

⑧市営住宅用地の利活用について

〈参加者の発言要旨〉

老朽化した市営住宅があります。稲荷町の市営住宅が2軒ほど空いています。ここを駐車場にすれば約70台、御幸町市営住宅を有料駐車場にすると30台、合計で100台は確保できます。これらの市営住宅について、将来壊さなくてはならないのでしたら、駐車場にするのも1つの方法ではないでしょうか。

〈市側の発言要旨〉

市営住宅につきましては、稲荷町と御幸町の市営住宅に、現在58名の方が入居しています。両市営住宅は老朽化していますので、新たな入居募集はしません。すべて空き家になった段階で、マネジメント計画の中で駐車場計画も含めて検討していきます。

◇対応方針・対応状況

懇話会の際にお話したとおり、すべて空き家になった段階で、公共施設マネジメント計画の中で駐車場計画も含めて検討していきます。

⑨日光宇都宮有料道路の無料化について

〈参加者の発言要旨〉

日光宇都宮有料道路の日光インターから清滝間を無料化して、清滝方面に車を誘導させるという考えはいかがでしょうか。

〈市側の発言要旨〉

日光宇都宮有料道路の日光インターから清滝間の無料化は、今回の社会実験で、日光インターから清滝間で150円かかるところを100円に割引しました。管理運営は栃木県道路公社ですが、割引なら協力をいただけるということで

す。無料化は難しいと思いますが、意見があったことについては伝えておきます。

◇対応方針・対応状況

日光インターから清滝間の無料化については、市からも要望しているところですが難しい状況です。区間割引については協力いただいていますので引き続き要望していきます。

⑩道路案内表示について

〈参加者の発言要旨〉

「東照宮に行きたかったらこっちを走ってください。」というような絶対的誘導をするくらいでないと渋滞緩和はできないと思います。人力では無理だと思います。掲示板は打ち込む人材が必要、渋滞を調べる人が必要とか、掲示板の高さが問題とかあるのなら、道路に色別で文字を書くという方法はできないでしょうか？

〈市側の発言要旨〉

道路に書ける文字というのは、道路交通法で決まっています。決まっているからだめという話ではありませんが、今市からずっと色を塗ってしまうと、おそらく掲示板をつくる何倍もかかります。路面表示として、どちらに行けるかという表示は書けると思いますが書ける場所や内容が決まっています。

◇対応方針・対応状況

路面標示による車両の誘導は有効な手法ですが、道路構造令など関係法令に基づく課題もあります。ご提案頂いた内容については、設置の方法や場所・実施の方法など渋滞対策のひとつとして検討していきます。